

## 期日前投票で国民審査の投票用紙の残票が不足していることについて

第 24 回最高裁判所裁判官国民審査の期日前投票において、10 月 11 日（水）の期日前投票時間の終了後、投票用紙の残数が 3 票不足していることが判明しました。

不足していることが判明したのは、都城市コミュニティセンター期日前投票所です。

当該期日前投票所では、その日に 100 票束の投票用紙 4 束を準備し、332 名の方が期日前投票をされました。投票時間終了後、残票数のチェックを行ったところ、65 票しかなく、3 票不足していることが判明しました。

選挙の重要性に鑑み、こうしたミスが起こらないよう、投票の体制を再度チェックして再発防止に努めます。

### 1 期日前投票の流れ

市内 12 か所の期日前投票所では、担当職員が選挙人から提出された投票用紙請求書兼宣誓書を基に選挙人を特定。期日前投票システムでバーコードを読み取り、選挙人の住所や氏名などを確認し、期日前投票の事由や投票の方法などを入力した後、投票用紙交付係で投票用紙を交付します。選挙人は、当該投票用紙に記載台で記入後、投票を行います。

### 2 原因

原因としては、次の 3 つが考えられますが、いずれの原因かは特定できておらず、引き続き調査中です。

- (1) 投票用紙を二重に交付した。
- (2) 紛失した。
- (3) 100 票束ではない結束票があった。

### 3 防止策

選挙執行前には、事務従事者の研修会やリハーサルを実施して事務処理の方法などを理解してもらい、更に二重交付については、特段の注意喚起を行うなどして臨んできましたが、再度、事務処理要領を確認して正確な事務処理の徹底に努めます。

なお、注意喚起については、各期日前投票所についてはすでに実施し、投票日当日の投票所の事務従事者については、来週実施する説明会にて行う予定です。

### 4 その他

10 月 12 日午後 8 時現在の国民審査期日前投票者数 1,617 人

うち、コミュニティセンターの国民審査期日前投票者数 788 人